

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく  
霞ヶ浦流域の減災に係る取組方針

令和7年度取組実施状況  
(代表事例)

# - 目次 - (名簿順)

主な取組項目	表題	頁
減災のための目標		協議会全体 1
概ね5年で実施する取組		協議会全体 2
協議会の開催経緯		協議会全体 3・4
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	タイムラインに基づく実践的な訓練	石岡市 5
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	まるとまちごとハザードマップ整備・拡充	龍ヶ崎市 6
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	洪水ハザード地区を対象とした防災訓練	鹿嶋市 7
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	総合防災マップ作成 ポスティングによる市内全戸配布	稲敷市 8
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等/避難指示の発令に着目したタイムラインの作成/防災教育や防災知識の普及	水害から命を守るための避難訓練の実施及びWEB版ハザードマップの導入	かすみがうら市 9
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	洪水避難訓練	神栖市 10
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成/防災教育や防災知識の普及/より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	防災行政無線の改良(デジタル化)、防災ラジオ、ディスプレイ付戸別受信機の配布等	行方市 11
防災教育や防災知識の普及	地域住民の適切な避難行動を支援するための取組み	銚田市 12
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成/より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	「マイ・タイムライン」作成講習の実施/水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	小美玉市 13
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等/防災教育や防災知識の普及	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進/出前講座等を活用した講習会の実施	阿見町 14
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	「マイ・タイムライン」作成講習の実施	河内町 15
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	町民へ向けたマイ・タイムライン作成講習会の実施, 職員による防災訓練の実施	利根町 16
より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	水防訓練の充実	香取市 17
避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備/防災教育や防災知識の普及	県河川情報システムのスマートフォン向けサイトの改良/小学生を対象とした防災教育の実施	茨城県 18・19
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成/防災教育や防災知識の普及	自治体の防災対応力向上に係る協力	水戸 気象台 20
防災教育や防災知識の普及	気象情報に関する講演を実施	銚子地方 気象台 21
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成/防災教育や防災知識の普及	令和7年度潮来市総合防災訓練 -潮来市-/令和7年度 牛堀小学校 出前講座/令和7年度 日の出小学校 出前講座	霞ヶ浦河川 事務所 22・23・24

## ■ 5年間で達成すべき目標

霞ヶ浦における大規模水害に対し、  
**「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」**を目指す！

## ■ 目標を達成するための3つの取組

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な**避難行動のための取組**
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための**水防活動の取組**
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための**排水活動の取組**

※大規模水害 = 想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ = 立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化 = 大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に経済活動を再開できる状態

## 1) ハード対策の主な取組

- 洪水を湖・河川内で安全に流す対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 2) ソフト対策の主な取組

### ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
  - ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
  - ・ 協議会において広域避難計画（案）の策定
  - ・ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
  - ・ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
  - ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
- 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
  - ・ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
  - ・ タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練
  - ・ 気象情報発信時の「危険度の色分け表示」や「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善
- 防災教育や防災知識の普及
  - ・ 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
  - ・ 水防災に関する説明会の開催
  - ・ 教員を対象とした講習会の実施
  - ・ 小学生を対象とした防災教育の実施
  - ・ 出前講座等を活用した講習会の実施
  - ・ プッシュ型の洪水予報等の情報発信
  - ・ 水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供
  - ・ 許可工作物管理者への防災教育の実施

### ② 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

- より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
  - ・ 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
  - ・ 水防団同士の連絡体制の確保
  - ・ 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
  - ・ 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
  - ・ 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
  - ・ 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
  - ・ 内水被害危険箇所の把握及び情報共有

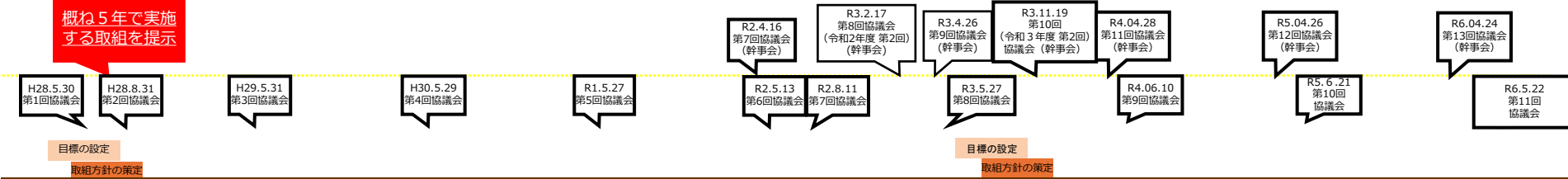
### ③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

- 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
  - ・ 排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、排水ポンプの設置箇所の選定まで行った大規模水害を想定した排水計画（案）の作成
  - ・ 排水訓練の実施
  - ・ 内水被害危険箇所の排水計画（案）の作成

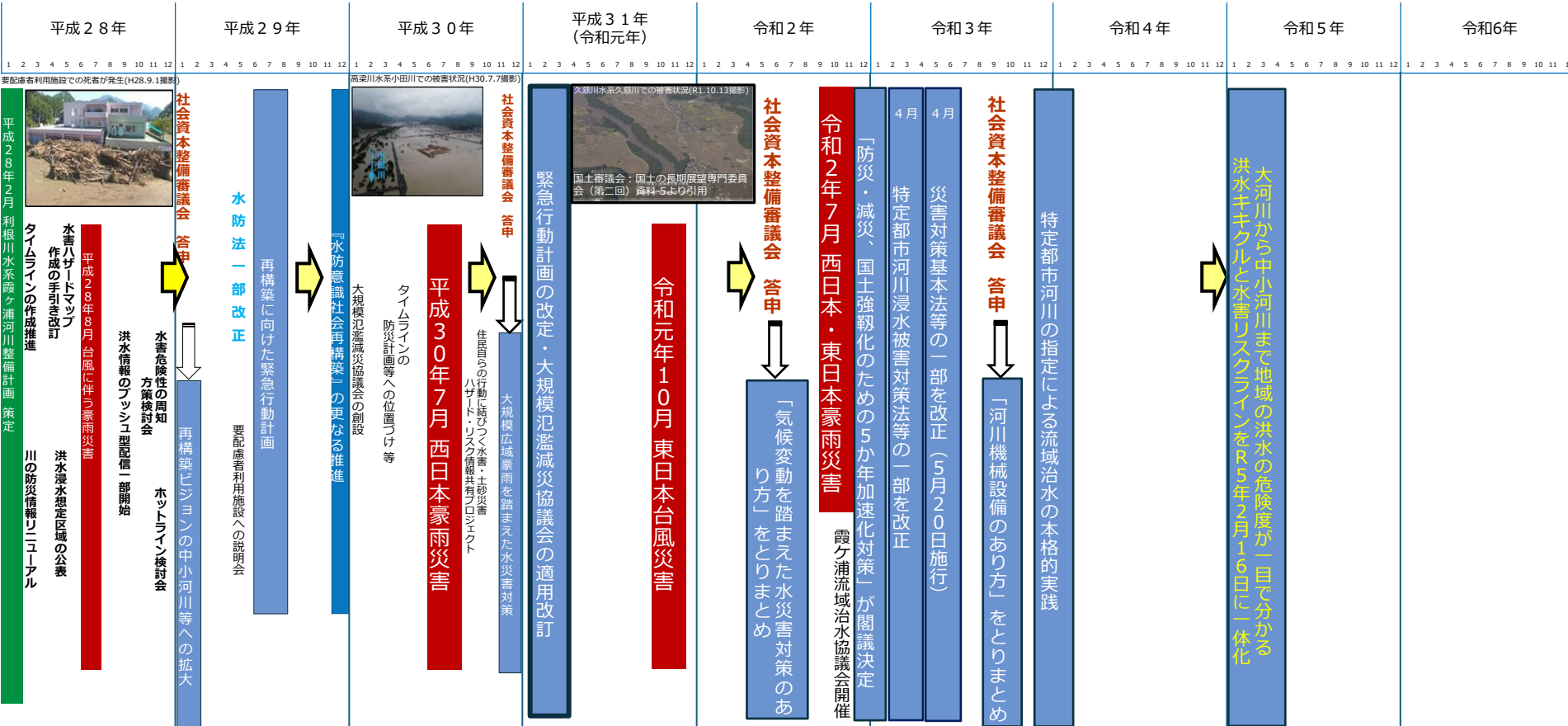
# 「水防災意識社会」の再構築に向けた取組 ~緊急行動計画の改定及び推進に関する整理~

協議会全体

## 霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催状況



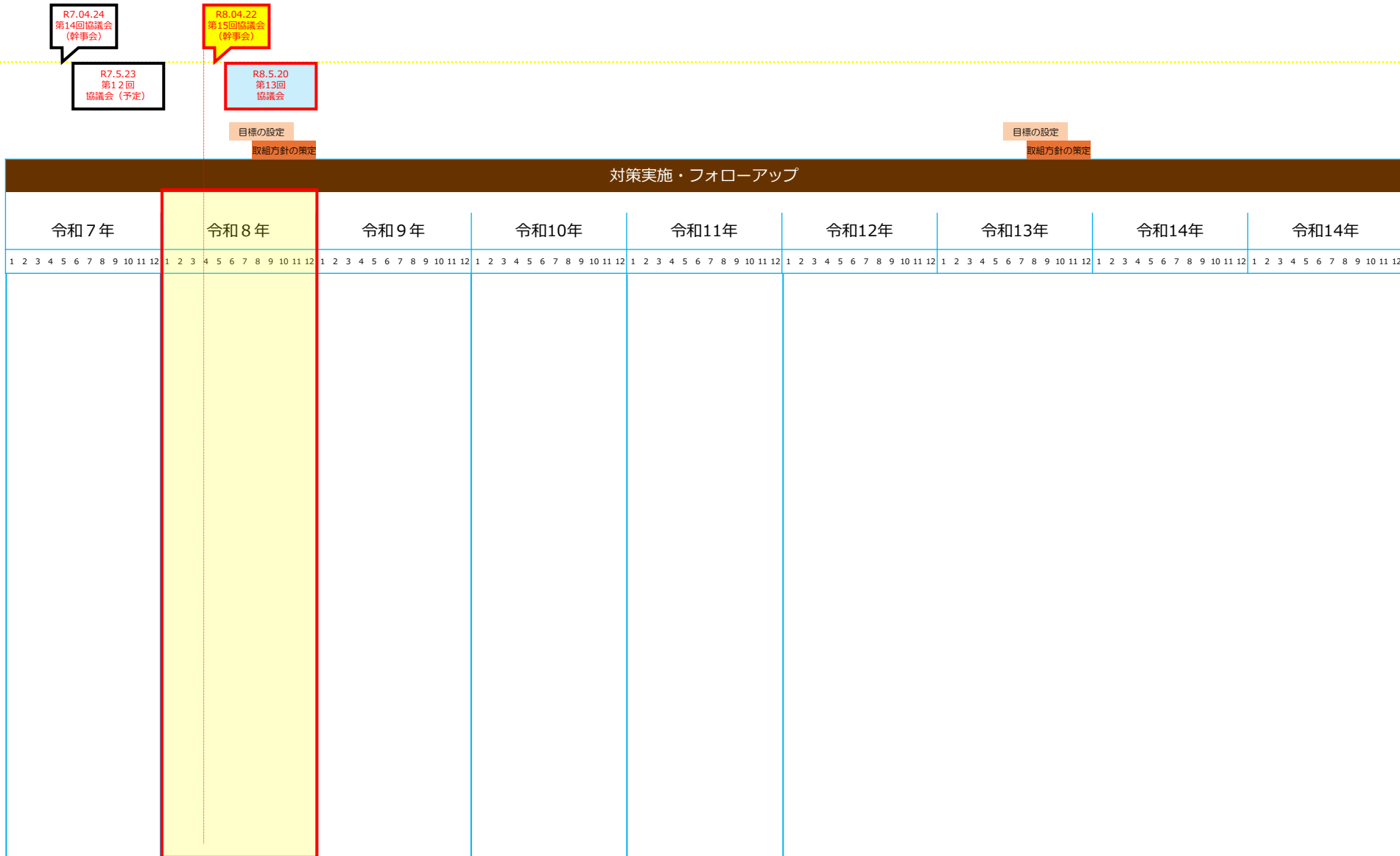
## 対策実施・フォローアップ



# 「水防災意識社会」の再構築に向けた取組 ～緊急行動計画の改定及び推進に関する整理～

協議会全体

## 霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催状況



## 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- ・タイムラインに基づく実践的な訓練

## 【令和7年度に実施した内容】

- ・出水期前に霞ヶ浦及び恋瀬川流域における浸水想定区域を有する地区において地域防災訓練を実施

浸水想定区域内による防災訓練（石岡小学校区地域防災訓練：令和7年6月29日 実施）  
【台風による大雨を想定】

## 避難指示発令に伴う避難行動



防災行政無線による避難指示発令に伴い指定避難所に避難する住民と避難所担当者による聞き取りの様子

## マイ・タイムライン作成講話



防災士を招いて防災講話を行い、防災ハザードマップ、マイ・タイムラインの必要性及び作成方法について講話を行っている様子

## 応急担架作成体験



風水害時の避難する時に負傷した人の搬送を想定した救護活動訓練の様子

広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

【令和7年度に実施した内容】

- ・まるごとまちごとハザードマップに係る想定浸水深表示板を市内浸水想定域にある100箇所の電柱に設置。
- ・上記設置地域の住民に対し、市担当による説明会を開催。
- ・市の広報紙や公式ホームページにて広報。

想定浸水深表示板の設置

想定浸水深表示板の設置 (R8.2月)

設置対象地区への説明会

広報紙・HPでの周知



地区名	設置箇所数
馴染地区	22
川原代地区	15
北文間地区	15
龍ヶ崎地区	14
龍ヶ崎西地区	14
大宮地区	15
長戸地区	3
城ノ内地区	2
計	100

身近に確認できる水害リスク「想定浸水深表示板」を電柱に設置

市ではこのほど、利根川・小貝川の氾濫で浸水が想定される地区の電柱100箇所に「想定浸水深表示板」を設置しました。国が進める「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組みとして行ったもので、市民の皆さんが日頃から水害リスクを認識することで、防災意識の向上を図ることが目的。

表示板には、最大規模の降雨で河川が氾濫した場合に予想される浸水の深さや、影響が大きい河川名を記載しています。

また、氾濫地の水位が一目で分かるように、電柱には想定される現地の水位を赤いテープで示しています。表示板は通行時などに簡単に確認できますので、地域や家庭での避難行動の検討にご活用ください。



・市内を流れる河川が氾濫した際に浸水が想定される地域に対して、想定浸水深を表示した表示板を市内100か所の電柱へ設置することで、地域住民の方々や表示板を確認された市内外在住の方々へ災害時・平常時における水害に対する意識を高める。

・想定浸水深表示板の設置対象地区になっている市内8地区に対して、説明会を実施。(R8.1月～8.2月まで)

・広報龍ヶ崎「りゅうほー」R8.4月号に掲載（『身近に確認できる水害リスク「想定浸水深表示板」を電柱に設置』）

・龍ヶ崎市公式HPに紹介ページを公開。

## 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

・洪水ハザード地区を対象とした防災訓練

## 【令和7年度に実施した内容】

- ・消防・警察・自衛隊・茨城県・水戸地方気象台・災害協定締結企業等と連携した、洪水からの防災訓練の実施
- ・出前講座によるマイ・タイムライン等の広報活動
- ・土のうステーション設置による土嚢設置訓練

## 実施した内容（状況写真・資料）

## 防災訓練



洪水による被害を想定し、住民の避難訓練及び災害対策本部の設置・運営訓練を実施した。

また、消防・警察・自衛隊・茨城県・水戸地方気象台・災害協定締結企業等と協力し啓発ブースの設置や有事の際の連絡体制の確認などを行った。

## 出前講座



自治会や小・中学校等を対象に出前講座を開催。

マイタイムライン（我が家のタイムライン）の作成・活用や洪水等の風水害災害について理解を深めてもらう。

## 土のうステーション



令和6年度に避難所となっている公民館施設5か所に土のうステーションを設置した。洪水ハザード地区の住民に対して、土のうの活用方法等について説明し、実際に土のう設置による洪水被害等からの対策について周知を行った。

広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・総合防災マップ作成 ポスティングによる市内全戸配布

【令和7年度に実施した内容】

- ・茨城県による県管理河川洪水浸水想定区域の指定に伴い、稲敷市の洪水浸水ハザードマップの改定を行いました。
- ・市内で発生し得る地震・風水害・土砂災害等による災害リスクを総合的に確認いただけるよう、各種ハザードマップや防災に関する情報をまとめたB4サイズ冊子型の総合防災マップを作成し、ポスティングによる全戸配布を行いました。

総合防災マップの一例

風水害等に備えて



避難行動判定フロー



インターネットを利用した防災情報



市民の防災意識向上のために、気象情報の説明、雨の強さと振り方の目安、気象用語のの解説等を掲載しました。

ご自身の避難行動を容易に確認できるようフローチャートを作成し記載しました。

市民が知りたい情報を取得できるよう、様々な情報取得媒体を紹介しています。

- ・水害から命を守るための避難訓練の実施及びWEB版ハザードマップの導入

【令和7年度に実施した内容】

- ①霞ヶ浦流域において水害が発生したことを想定し、市民一人ひとりがとるべき行動「いつ」、「だれが」、「何をするのか」に着目した「水害から命を守るための避難訓練」を実施  
同訓練の中で、「防災士と連携した実践的な避難所開設運営訓練」や「避難行動要支援者への避難支援訓練」を実施
- ②令和7年度末に、「かすみがうら市Web版ハザードマップ」を構築

①-1 避難所開設訓練



防災士と連携し、防災倉庫から資機材を運搬して避難スペースの設営を行い、避難者の受け入れを行った。

また、避難行動要支援者への避難支援訓練では、避難支援者との連携避難等を行った。

①-2 水戸地方気象台による防災講座



水戸地方気象台の講師2名による防災講座を開催。「茨城県内の雨の特徴と災害の事例」と「防災気象情報の活用」についてご講演いただいた。

受講者は、マイタイムラインの重要性及び作成方法を学ぶことができた。

② Web版ハザードマップ



パソコンやスマートフォンからいつでも閲覧でき、「いざという時」の迅速な避難行動に役立てられるWeb版ハザードマップを構築した。

多言語化対応しており、より多くの方に利用いただけるものとなっている。

## 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

## ・洪水避難訓練

## 【令和7年度に実施した内容】

## ●目的

・本訓練は、災害対策基本法、神栖市地域防災計画に基づき、市民・関係機関・市等が災害時における初動対応を確認するとともに、避難所開設・避難者受入訓練や各種訓練を実施することにより、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。

## ●対象地域

・波崎第二・第四中学校区

## ●参加機関

・利根川下流河川事務所、霞ヶ浦河川事務所、陸上自衛隊、茨城県、鹿島地方事務組合消防本部、神栖警察署、東日本電信電話(株)、東京電力パワーグリッド(株)、アート産業(株)、日赤アマチュア無縁奉仕団、神栖市動物愛護協議会、神栖市消防団、神栖市防火クラブ、神栖市防災士協議会、神栖市

## ●訓練内容

①洪水避難訓練②避難所開設・避難者受入訓練③災害体験訓練④初期消火訓練⑤ロープ結索訓練⑥応急手当訓練⑦煙体験訓練⑧自衛隊資機材展示⑨炊き出し訓練⑩応急給水訓練⑪マイ・タイムライン作成支援⑫防災啓発展コーナー⑬ペット同行避難⑭マイ・タイムライン作成支援

## 訓練風景



洪水避難訓練



災害体験車両



パーティションテント展示

- ・ 防災行政無線の改良(デジタル化)、防災ラジオ、ディスプレイ付戸別受信機の配布等

【令和7年度に実施した内容】

- ① 6月に消防団夏季訓練の中で、風水害時に使用する土のう作りを実施した。
- ② 市職員による災害時における避難所開設訓練及び避難所運営の確認を実施した。
- ③ 11月の秋祭りで、防災啓発ブースを出展

令和7年度に実施した内容

①消防団による土のう作成



行方市消防団は市民の安全を守る技術向上を目的とした夏季訓練を実施。作成した土のうは、台風や集中豪雨による浸水被害を食い止めるために使用する。

②避難所開設訓練



行方市は、大規模災害の発生を想定し、市職員を対象とした避難所開設・運営訓練を実施。発災直後、避難所となる公共施設に駆けつけた職員がいかに迅速かつ適切に対応できるか、実践形式で確認を行った。

③防災士による防災啓発活動



秋祭りで防災啓発ブースを出展、市で開催された「秋祭り」の会場において、市民の防災意識を高めるための啓発活動を実施。ブースでは、子どもや大人まで楽しめる防災クイズや、マイ・タイムラインの普及・PR活動を実施。

# 防災教育や防災知識の普及

- ・ 地域住民の適切な避難行動を支援するための取組み

## 【令和7年度に実施した内容】

- ・ 市総合防災訓練による普及啓発
- ・ 日本語学校へ通う外国人への防災授業

### 防災訓練・防災教育

#### 市総合防災訓練



市総合防災訓練と併せて防災フェアを開催した。  
 訓練では、市民参加型の避難訓練や関係機関と連携した救助訓練及び炊き出し訓練を行う。  
 防災フェアでは、講演会、マイタイムライン作成講座のほか、防災関係団体や災害協定締結事業者等による各種体験や展示を実施した。

#### 外国人に対する防災教育



市内の日本語学校へ通う外国人に対して、  
 市内で発生した過去の災害を基に、ハザードエリアや取るべき避難行動について説明を行う。

- 「マイ・タイムライン」作成講習の実施／水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

【防災講座の実施】

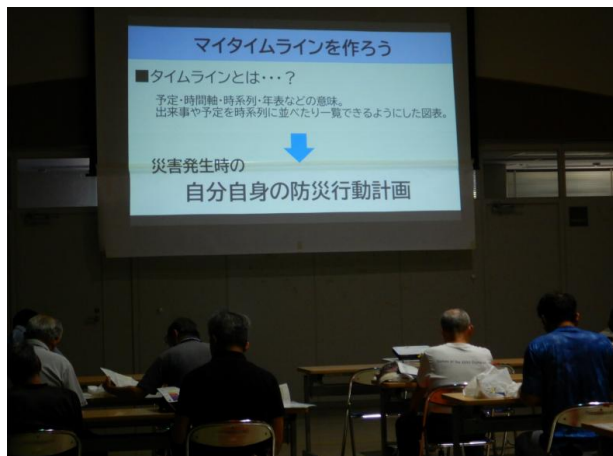
茨城県・小美玉市避難力強化訓練を開催した洪水ハザード地区を対象とした避難訓練や、市民コミュニティの集会などで防災講座を実施した。

防災講座では、災害で市が被った被害や市内の危険箇所を伝えたほか、マイ・タイムライン作成演習の時間を設けた。作成演習には、県から配布された「我が家のタイムライン」を資料として使用した。

【共同点検の実施】

消防と地元の消防団、地元の行政区長と霞ヶ浦沿岸の増水時の対応についての確認及び危険箇所及び施工箇所の点検を実施した。

マイタイムライン作成講習



茨城県・小美玉市避難力強化訓練で洪水ハザード地区の避難訓練で実施した防災講座。市内の危険箇所や実施中の土砂災害対策を紹介し、その中でマイ・タイムラインを作成する演習も行った。

マイタイムラインを作ろう

あなたが取るべき行動を考えてみましょう！

- ①ハザードマップで周辺の災害リスクを確認しましょう
- ②我が家のタイムラインを利用してタイムラインを作成しましょう

マイ・タイムライン作成演習の資料の一つ。市のハザードマップや「我が家のタイムライン」を参考にするよう指示した。

共同点検



消防と地元の消防団、地元の行政区長と増水時の対応についての確認と、霞ヶ浦沿岸の危険箇所や嵩上げ工事の施工場所の点検を行った。

- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進／出前講座等を活用した講習会の実施

### 【令和7年度に実施した内容】

- ・ 令和7年5月31日（土）、洪水浸水想定区域の住民を対象に、町から避難指示が発令されたことを想定した避難訓練を実施した。町登録制メールや区長への電話を合図に最寄りの避難所に避難してもらい、受付要領確認やエアベッド等の資機材組み立て体験を行った。訓練には、対象となる6地区から約40名の住民が参加した。併せて町職員も避難所開設等の手順を訓練した。また、我が家のタイムラインの作成講座を実施し、実際に作成した。
- ・ 令和7年6月27日（金）、福祉避難所として指定している「あみまちの拠点くら・ら」において、福祉避難所担当職員を対象に、開設訓練を実施した。訓練では、受付要領やエアベッド等の組み立て方法の確認を行うとともに、くら・らの職員から介助要領について説明を受けた。
- ・ 令和8年1月17日（土）、地区が実施する防災訓練において、防災講話を実施した。訓練には約60名の住民が参加し、阿見町の地域特性やハザードマップの見方、我が家のタイムラインの作成要領について説明した。

洪水浸水想定区域の住民を対象とした  
住民避難訓練



住民、防災アドバイザー、霞ヶ浦高校ボランティアサークルの生徒がエアベッド等を作成する様子

福祉避難所開設訓練



福祉避難所担当職員が車いすの避難者を介助する様子

地区の防災訓練



阿見町の防災ハンドブック、我が家のタイムラインについて説明する様子

- 「マイ・タイムライン」作成講習の実施

【令和7年度に実施した内容】

- 町内の浸水想定区域内に居住する住民に対し、避難・自助力向上を目的とした町民参加による避難訓練を実施した。その中で、防災士連絡会主導により、マイタイムライン作成講習を行った。
- 防災フェア（町イベントと同時開催）にて、河内町女性消防団が来場者にマイタイムライン作成の呼びかけを実施した。

広域避難訓練内での  
マイタイムラインの作成講習



6月22日（日）町内の浸水想定区域内に居住する住民に対し、町の避難訓練内で防災士連絡会がハザードマップの説明、マイタイムラインの作成指導を実施した。

町内イベント内での  
マイタイムラインの作成呼びかけ



11月2日（日）町イベントと同時開催の防災フェアにて、来場者に対し、河内町女性消防団がマイタイムライン作成を含めた防災に関するクイズ等を実施した。

## 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- ・ 町民へ向けたマイ・タイムライン作成講習会の実施，職員による防災訓練の実施

## 【令和7年度に実施した内容】

- ・ 出前講座等を活用した講習会の実施
- ・ 職員の防災訓練の実施

## 出前講座，マイ・タイムライン作成講習会



令和7年度に4回の出前講座を実施。

近年の災害，水害から身を守ること，いざという時の災害に備えての自分たちはどのように行動すべきなのかを考え，町の洪水ハザードマップを見ながら，参加者各々のマイ・タイムラインを作成しました。

また，浸水地域以外にも高台に居住する町民の方にも，水害の際に起こりうる災害について，自分たちで行える日頃の備えについても講習会を実施しました。

## 職員の防災訓練



令和7年6月17日出水時期に合わせて職員の防災訓練を行いました。

今回の防災訓練では，激甚化する災害に備え，大雨による道路冠水等への応急的な対応を全ての職員ができるよう体制を強化するため，例年行っている，避難所設営訓練に加え，土木住宅対策部の職員による，土のう設置，運搬訓練を行いました。

町では，実際に災害が発生した時に，職員が的確に対応できるよう定期的に訓練を実施しています。

## より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

## ・水防訓練の充実

## 【令和7年度に実施した内容】

- ① 水防実技研修会を実施し、風水害時に使用する土嚢作成や水防工法の実践を行った。
- ② 市職員を対象とした避難所開設訓練の実施した。

## 令和7年度の取り組み状況

## ①水防工法に使用する土嚢作成



研修会で作成した土嚢については、災害時等に活用します。

## 水防工法の実践



香取広域市町村圏事務組合消防本部職員の指導により、釜段工や積土嚢工の2種の水防工法の実践を行った。

## ②避難所開設訓練



指定避難所において、避難所担当職員25名が避難所開設訓練を実施した。要配慮者スペースの設置を行い、発熱者等の避難者の受け入れのシミュレーションを行った。

- ・県河川情報システムのスマートフォン向けサイトの改良

## 令和7年度 of 取組状況

- スマートフォンが世の中に広く普及したことから、スマートフォンから災害情報を入手することが多くなっている。そのため、利用者特性や利用場面を踏まえ、スマートフォン端末の性能やサイズによる制約条件を十分に考慮したサイトを新たに構築した。
- 既存のスマートフォンサイトから利便性を大きく向上させ、災害情報が速やかに伝わるサイトを構築した

### 既存のスマートフォン版サイト

茨城県 土木部  
雨量・河川水位情報

気象情報  
気象警報・注意報  
洪水予報  
水位変動河川情報

市町村選択  
検索方法  
地図から探す  
地域から雨量局を探す  
地域から水位局を探す  
カメラ映像  
河川カメラ  
お知らせ  
2022.05.24 「五行川 橋樑」カメ...  
リンク・用語集  
リンクページ  
用語の解説

トップ画面から得られる有効な情報が少ない

アイコンが小さく、選択しにくい  
河川の形状が分かりにくい



### 新たに構築したスマートフォン版サイト

茨城県 土木部 雨量・河川水位情報 戻る

気象警報・土砂災害警戒情報  
津波警報発表中(06/02 12:00)

市町村	大雨	洪水	高潮	土砂
太子町	特別警報	注意報	特別警報	発表中
美浦村	特別警報	注意報	特別警報	発表中

河川情報  
ひと目でわかる災害情報

観測時刻	地点名	状況
06/02 15:00	島名	避難判断水位超過

警報情報地図

観測局のアイコンサイズを大きくし配色を変更することで、視認性を改善

主キクルや浸水想定を重ね合わせ

## ・小学生を対象とした防災教育の実施

## 令和7年度の取組状況

- ▶ 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- ▶ 特に令和4年度からは、国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- ▶ 令和7年度実績：全96校のうち62校について県で講師派遣（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

- ・自治体の防災対応力向上に係る協力

### 【令和7年度に実施した内容】

- ・各市町村防災担当者等の災害対応能力向上を目的とした講習会を実施。
- ・各種の防災気象情報を適切に理解し、避難情報発令のタイミングなどを検討する「気象防災ワークショップ」を開催
- ・市町村が行う各種訓練へ参画し、シナリオ作成時の協力、訓練内でのホットライン、訓練後の講演等を実施

### 災害対応力向上を目的とした講習会



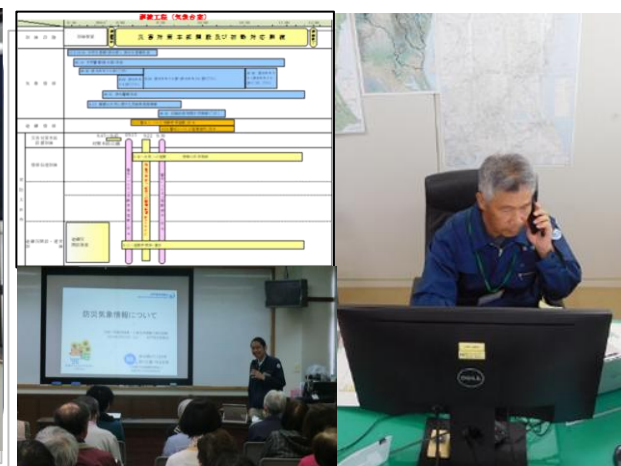
茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、茨城県、茨城県市長会、茨城県町村長会、水戸地方気象台の共催により「災害対応講習会」を実施した。また、水戸地方気象台が主催する防災気象連絡会を実施。その他、市町村が主催する研修会等の機会を通じて防災気象情報、地震情報に関する解説を行った。

### 気象防災ワークショップを開催



自治体を対象に、対象に時々刻々と変化する防災気象情報を踏まえて講じるべき防災対応の判断を模擬体験する気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いてオンライン開催した。令和5年に発生し、茨城県内に大きな被害をもたらした事例を題材とした水戸地方気象台独自のシナリオも利用して実施した。

### 市町村が実施する訓練へ参画



市町村が実施する災害対策本部運営訓練や、避難訓練にシナリオ作成段階から参画、訓練内での模擬ホットライン、訓練後の講演等を実施した。

気象台ではこのほかに、自治体実施する防災訓練や各種イベントへの参加し、講話や出展などを通じて防災気象情報の普及啓発に取り組んでいる

・ 気象情報に関する講演を実施

概要

「2025年夏の天候について」と題して令和7年度利根川下流部利水者懇談会において講演を実施。

詳細

日時：2025年5月23日14時

場所：利根川下流河川事務所

実施形式：対面 + web（合計で約30名参加）

内容：近年の夏において、台風や線状降水帯による極端な気象現象が頻発している状況を紹介し、注意喚起した。また、今夏の天候の見通しとその要因を解説した。

**【はじめに】頻発化する極端な気象現象**

- 近年、千葉県でも相次いで発生している極端な気象現象
  - 2019年（令和元年）「台風15号」、「台風21号」「10月25日の大雨」
  - 2023年（令和5年）「令和5年台風第13号による大雨」（千葉県で線状降水帯発生）
  - 2023年（令和5年）、2024年（令和6年）「夏の記録的な高温」

【補足】 東日本太平洋側 平均気温平年差(℃) および 【降除】 平均気温平年差の除値( ) 0：平年並 1：高い 2：かなり高い

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年の値
2023	+0.3(1)	+1.1(1)	+3.5(2)	+1.7(2)	+0.4(1)	+1.0(2)	+2.0(2)	+1.8(2)	+3.0(2)	+0.1(0)	+1.2(1)	+1.2(2)	+1.4(2)
2024	+1.6(2)	+2.1(2)	+0.1(0)	+2.8(2)	+0.7(1)	+1.0(2)	+2.5(2)	+1.9(2)	+3.3(2)	+2.7(2)	+1.5(2)	0.0(0)	+1.7(2)

[https://www.data.jma.go.jp/cpd/cqi-bin/view/ymhist.php?req\\_no=7&year=0&month=0&elem=0&kind=0](https://www.data.jma.go.jp/cpd/cqi-bin/view/ymhist.php?req_no=7&year=0&month=0&elem=0&kind=0) より

2023年（令和5年）台風第13号による大雨

降水量の期間合計値  
期間：2023年9月7日～2023年9月9日

千葉県、茨城県及び福島県で線状降水帯が発生

2024年（令和6年）夏の記録的な高温

猛暑日の観測回数が歴代最多

地点数の積算

全国のアメダス地点で観測された猛暑日の地点数の積算

出展：災害時自然現象報告（令和6年3月27日）  
令和5年台風第13号による9月7日から9日にかけての大雨等

出展：気象庁報道発表（令和6年9月2日）  
令和6年7月以降の顕著な高温と7月下旬の北日本の大雨の特徴と要因について

**向こう3か月(6月～8月)の予想される海洋と大気の特徴**

- ①地球温暖化の影響等により、**全球で大気全体の温度が高い**でしょう。
- ②太平洋熱帯域の海面水温は**中部で低く、西部で高い状態が続く**でしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いでしょう。
- ③このため、**積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多い**でしょう。
- ④これらの影響により、上空の**偏西風**はユーラシア大陸から日本付近にかけて**平年より北の位置を流れやすく**、**チベット高気圧**は平年に比べ**北側で強い**でしょう。また、**太平洋高気圧**は平年に比べ**日本の南で西への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすい**でしょう。

これらのことから、**日本付近は暖かい空気に覆われやすい**でしょう。また、本州付近を中心に、**梅雨前線の活動が活発となる時期**があるでしょう。

▲上記①～④は、右上図中の①～④に対応した説明文です。

数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴（6月～8月）

3か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。中高緯度の気象変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が高いため、予報を検討する際にはこの点も考慮しています。

講演資料の一部

## 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

## ・ 令和7年度潮来市総合防災訓練 -潮来市-

日時：令和7年6月29日（日）8:30～11:00

場所：潮来市立 延方小学校（メイン会場）、各地区集会所等

内容：台風や大雨による河川の氾濫、土砂災害発生を想定し、市内全地区で防災訓練を実施。

防災訓練参加者を対象に「マイ・タイムライン」作成講習。

作成方法：「逃げキッド」を使用した作成。

水防担当：霞ヶ浦河川事務所

## 「マイ・タイムライン」作成の要点

洪水発生を想定し、先ずはお住いの地域からハザードマップを参照し、最寄りの避難場所と避難経路を確認。

「いざ!」と言う時に必要な行動と、タイムラインに応じた事前の準備について説明を行いながら、余裕をもった逃げ方を心掛けて頂けるよう説明を行いました。

💡 危険な場所として、橋や崖、道路脇の溝や流れやすそうな物を何気ない日常から確認していると、浸水した際に役立ちます。



マイ・タイムライン作成の様子



排水ポンプ車の展示

## 防災教育や防災知識の普及

## 令和7年度 牛堀小学校 出前講座

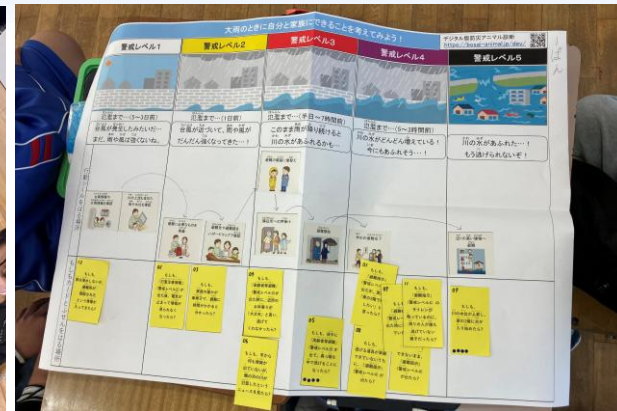
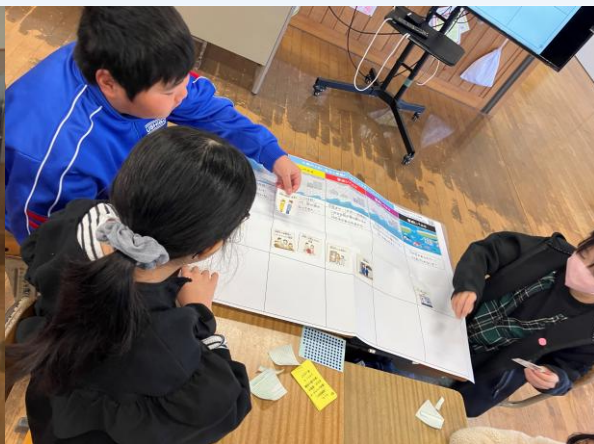
日時：令和7年11月4日（火）9:25～10:10

場所：潮来市立 牛堀小学校

内容：霞ヶ浦の洪水被害について防災意識の向上を目的としたスライドの説明。  
防災アニマル診断や「マイ・タイムライン」作成講習。

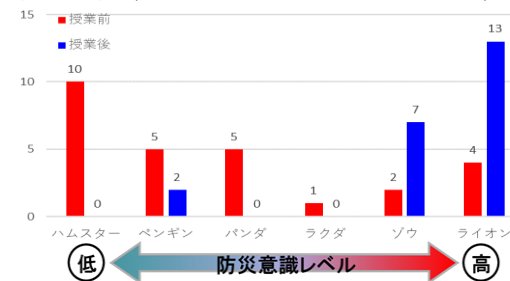
作成方法：グループワークによる「マイ・タイムライン作成」や「もしもカード」による行動確認。

水防担当：霞ヶ浦河川事務所 流域治水課職員



小学校の児童を対象に防災講座を実施

■授業の効果（防災教育前後の防災意識の変化）



授業の前後で防災アニマル診断を実施した結果、水害の知識や自宅の危険性を知らなかった「ハムスタータイプ」「ペンギンタイプ」「パンダタイプ」が大幅に減り、水害への関心が芽生えました。

## 防災教育や防災知識の普及

## 令和7年度 日の出小学校 出前講座

日 時：令和7年12月2日（火）14:20～15:05

場 所：潮来市立 日の出小学校

内 容：霞ヶ浦の洪水被害について防災意識の向上を目的としたスライドの説明。  
防災アニマル診断や「マイ・タイムライン」作成講習。

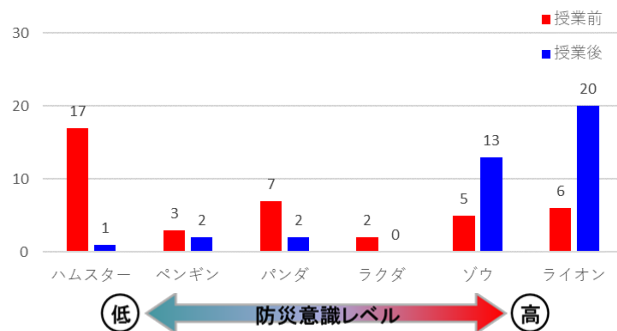
作成方法：デジタル版防災アニマル診断を活用した、自宅の危険性の確認やマイ・タイムライン作成による行動確認。

水防担当：霞ヶ浦河川事務所 流域治水課職員



小学校の児童を対象に防災講座を実施

■授業の効果（防災教育前後の防災意識の変化）



授業の前後で防災アニマル診断を実施した結果、水害の知識や自宅の危険性を知らなかった「ハムスタータイプ」「ペンギンタイプ」「パンダタイプ」が大幅に減り、水害への最低限の関心が芽生えました。